

情報アクセシビリティ・コミュニケーション&  
手話施策推進に向けた アンケート調査報告書

# 災害等緊急時の通訳(手話・要約筆記) 派遣システム再構築について



どんな時でも**意思疎通**できる!



社会福祉法人 千葉県聴覚障害者協会

## はじめに

聴覚障害者への意思疎通支援（手話通訳・要約筆記）は平時はもとより、災害時などの緊急時においても確保されるべき重要な社会基盤です。とりわけNET119は、一刻を争う非常時における通報手段として、極めて重要な役割を担っています。

しかしながら、当センターが実施したアンケート調査においては、「NET119に通報したが病院に通訳者が来ない」など、緊急時の不安の声が寄せられました。

加えて、令和7年には手話施策推進法が制定され、第10条（災害に関する条文）において、「災害等非常事態が発生し、または発生するおそれがある場合に、安全を確保するための手話による情報提供」が明記されました。こうした法整備の趣旨を踏まえ、本調査結果をもとに、今後求められる取組について検討することが重要であると考えます。

本アンケート結果の考察を踏まえ、災害等緊急時における意思疎通支援体制の一層の充実と、聴覚障害者が安全かつ安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向け、私たちに必要な取組みとともに、関係機関にどういった配慮が必要かなど、ここに提言いたします。

令和8年3月

社会福祉法人 千葉県聴覚障害者協会  
理事長 植野 圭哉

### § 目次

はじめに

1. 千葉県在住の聴覚障害者ヒアリング…… 3
2. 千葉県消防指令センターのエリア…… 6
3. 千葉県54市町村アンケート集計…… 7
4. アンケート結果について……13
5. 今後の提案……14

②

